



医療法人社団 如水会 広報誌 今村病院の理念：全ての人に「健康」という幸せを提供しつづける。

如水 広報誌

VOL.11

2013年1月

私たちはサガン鳥栖を応援します

迎春



目次

新年のごあいさつ	1
部署紹介／グループホーム「かがやきの里」かみみね	2
【特集】外来薬局開局一周年 & ジェネリック医薬品とは	3、4
インフォメーション、イベント紹介	5
お世話になっている医療機関 ／はらだ内科・胃腸科	6
外来診療予定表、編集後記	7



(c)S.D CO.,LTD

医療法人社団 如水会
今村病院



<http://www.josuikai.or.jp/>
Email info@josuikai.or.jp

今村病院は、
昨季からサッカーJリーグ1部で戦う
「サガン鳥栖」のサポーターです。

新年のごあいさつ



医療法人社団 如水会 今村病院
理事長 今村 一郎

明けましておめでとうございます。
旧年中は格別のご高配を賜り心より感謝いたしております。

『如水』発行から、今年で3年目を迎えることとなりました。

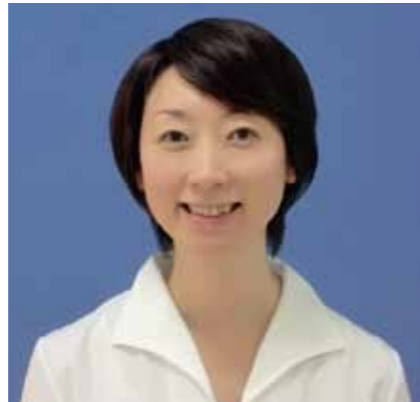
ご覧いただいている地域の皆さま、ご協力いただいている地域医療機関の皆さまに、深く感謝申し上げます。

さて、今年はいよいよ一層の地域医療に貢献出来ます様、精進いたす覚悟でございます。今年には新外来棟の建設も予定しております。救急医療を強化していく方針いたしました。皆様が安心して生活していただけることが我々の強い想いがございます。更なる充実した医療の中で、心を込めて診療をさせていただきます。

本年も何卒ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平成25年 元旦



医療法人社団 如水会 今村病院
副理事長 山下 明子

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。新年を迎えると、晴れやかで前向きな気持ちになり自分や周囲の人の幸せを願います。その気持ちを年中忘れることなく保ち続けていたいものです。

日々診療をしていますと、素敵な人生の先輩方によく出会いますが、90歳を超えても趣味や社会活動を続けておられる方には、前向きであるという共通点があります。

実際に米国で行われた研究では、同じ環境で暮らす20代の修道女を対象に、日記にポジティブな言葉とネガティブな言葉がどれだけあるか比較し、同じ対照群の60年後の生存率を比較しました。すると、ポジティブな言葉の多い人のほうが生存率が高い事が明らかになったのです。

今年も職員一同明るく前向きに仕事に励み、皆様の健康を支えるお手伝いをさせて頂きたいと存じます。

平成25年 元旦



医療法人社団 如水会 今村病院
院長 平田 祐造

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昭和36年頃、『上を向いて歩こう』という歌が流行りました。日本は高度経済成長の時期で、辛いことも多かったけど、新しい毎日がまぶしかった時代と聞いています。高度経済成長の中、周りを見れば幸せそうなことばかり。でもなぜか自分は忙しいばかりで幸せでなく、賑やかな都会では余計に寂しさを感じてしまう。いつもいつも独りぼっちで故郷が恋しくなるばかり。上を向いて歩くのは、涙がこぼれないように、そして泣いてたまるか・・・と、いうことだったのでしょか。

今の日本は、ずいぶんと新しいことも少なくなり、今まで新しかったことやまぶしかったことが、それでいいのかを問われる時代になりました。政治も、我々の仕事も生活も、そのことが問われているような気がします。新年を迎えて、しっかりと足元や歩いてきた道を振り返って、上ではなく前を向いて歩いて行かなければ、気持ちを新たにしている次第です。

病院のチカラ…地域の方のお役に立てる、本当のチカラ…を培っていく年にしたいと、準備と覚悟を持って進んで参りたいと思っております。

本年も職員一同、何卒宜しくお願い申し上げます。

平成25年 元旦

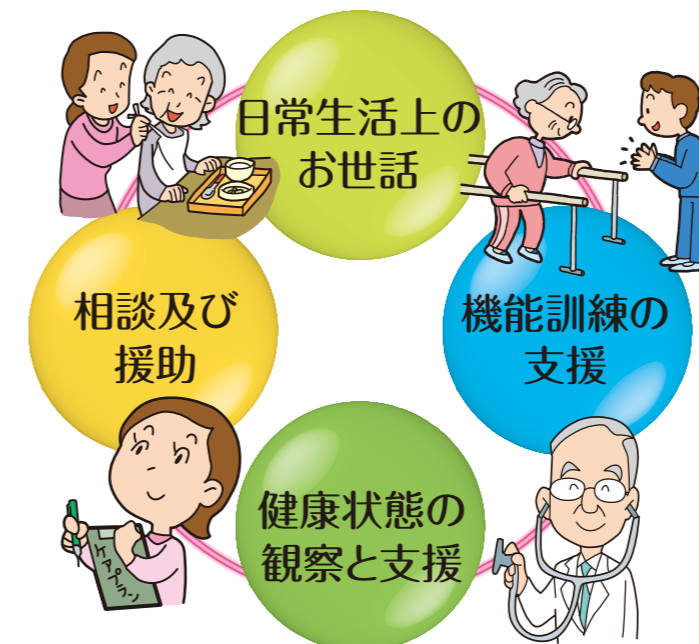
シルバーケア事業部 グループホーム 「かがやきの里」かみみね



グループホームとは、認知症高齢者が共同生活でケアを受けながら家庭的な雰囲気の中で1日を通して食事や団らんを行う居住空間で、共同生活を営む事は精神的に安定し認知症の進行を穏やかにすると同時に、問題行動の減少や抑制に効果があります。

グループホームは「介護施設」というよりも、くつろげる空間と信頼関係がある相手がいる、もう一つの我が家としての役目を担っています。

サービスについては大きく分けて、
下記の内容になります。



ホームには、管理者をはじめ、ケアマネージャー、看護師、介護福祉士、介護員が配置されており、異なる職種同士が連携を図り、入居者さまのケアを行っています。

その中の取り組みの一つとしては、月1回の外出支援を行い、工場見学やイベント、季節のお花見など様々な場所に外出し、四季を肌で感じてもらうように取り組んでいます。

私達職員は、認知症を患い記憶を失っていく高齢者の方に「今」を精一杯楽しく過ごして頂けるようお世話をさせていただき、認知症を抱えている高齢者の方やそのご家族の方が少しでも笑顔になるようにお支え出来ればと思っております。

ご家庭での介護にお困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

ホームのご見学も随時受け付けております。

シルバーケア事業部
グループホーム
「かがやきの里」かみみね
お電話での相談もお気軽にご利用下さい。
☎0952-53-5735
【担当者 佐田】
住所：佐賀県上峰町堤620-1



山下明子 Dr が復帰いたしました。
診療時間は右記の通りになります。
※都合により休診・変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。

診療時間 ●外来診療／火曜日 9:00～12:30
水曜日 9:00～12:30
●リハビリ診療／木曜日 13:30～17:00

外来薬局開設一周年



一周年のごあいさつ

外来薬局は、今年で無事1年を迎えることができました。

外来薬局開設当初は、お薬をお渡しするのに時間がかかり患者さまにご迷惑をおかけしました。現在は、病院のスタッフの協力もあり、最初の頃に比べてお薬をお渡しする時間が短縮できるようになりました。しかし、お薬の内容や、混み合った時は、お待たせすることがあります。これからも少しでも待ち時間の短縮ができるように努めていきたいと思っております。



ジェネリック医薬品とは??

医療費は、みなさんが医療機関の窓口で支払う「負担額」の他に、国や地方の「税金」、国保・健保の「保険料」でまかなわれています。少子高齢化が進む日本で、医療費は約36.7兆円(2009年度)、そのうち薬剤費は約8兆円にもなり、年々増え続けています。もし、特許が切れた新薬をすべてジェネリック医薬品に替えれば、国の医療費が年間約1.7兆円も抑えられる、といわれています。

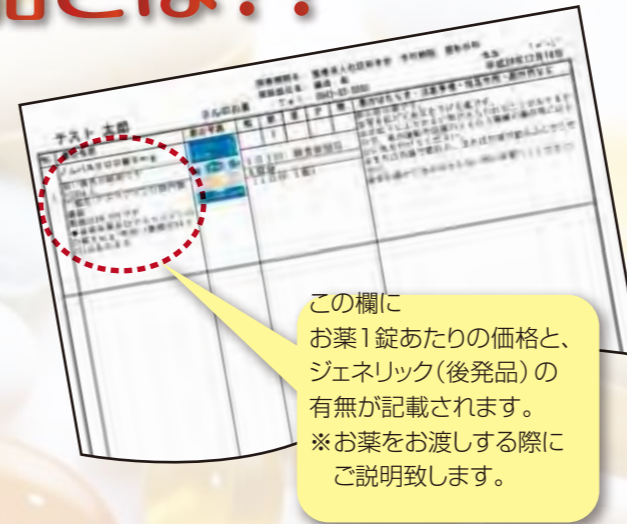
では、ジェネリック医薬品とは何か?

患者様の飲まれているお薬には、大きく2種類あります。一つは、「先発医薬品」。もう一つは、「ジェネリック医薬品」です。



先発医薬品とは?

先に発売されているお薬のことを先発医薬品といいます。先発医薬品は、特許を取得しており、特許がきれるまでは同じ薬を販売することはできません。特許は、一定期間(20~25年)が過ぎるとなくなります。



■薬剤情報提供文書(イメージ図)

ジェネリック医薬品(後発品)とは?

先発医薬品の特許期間(20~25年)終了後、同じ有効成分を使って同じ効き目、安全性となるように作られたお薬です。先発品に比べて、開発や研究にかかる時間、費用が少ないため開発費を大幅に削減でき、価格を安く抑えられます。



ジェネリック医薬品と先発医薬品の違いは?

先発医薬品とジェネリック医薬品で違いが認められているのは、色、形、添加物などです。

添加物とは、先発医薬品、ジェネリック医薬品に関係なく、有効成分を「お薬」として使えるようにするために加えられている物質です。添加物の違いを利用して、先発医薬品よりも飲みやすく改良した薬を作ることができます。



気をつけることはあるの?

特許終了前などの理由により、ジェネリック医薬品がまだ作られていないこともあります。また、人によってはお薬に含まれている添加物などが病気や体質に合わないことがありますので、お医者さん、薬剤師さんとよく相談することが大切です。

実際にどれくらい安くなるの?

例えば、当院で先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替わった場合の一例。

●抗アレルギー薬(1日1回、1回1錠内服の場合)

	先発医薬品	ジェネリック医薬品	差額
1日あたりの薬価	109.9円	56.0円	53.9円
1ヶ月(3割負担)	923.2円	470.4円	452.8円
1年間(3割負担)	12034.1円	6132.0円	5902.1円

インフォメーション Information

日頃の安全運転が表彰されました!

◆安全運転管理者
古村 憲二



平成24年度優良「安全運転管理表彰」という名誉ある賞を佐賀県警察本部並びに佐賀県安全運転管理者協議会より、唐津市文化体育館にて平成24年10月16日に受賞しました。

これは当院の飲酒運転撲滅運動や業務時の安全運転チェック等、交通ルールの遵守とマナー向上に対する日頃の活動が認められたものであり、今回受賞の運びとなりました。

今後、更に安全運転への意識を高め、優良安全運転管理者の名に恥じぬよう安全運転管理活動の発展に努めてまいります。

学会認定看護師の資格 を取得しました。

◆看護師
嶋津 美智子

平成24年9月に『意識障害・廃用症候群患者への生活行動回復看護(以下、NICDと略す)』の学会認定看護師の資格を取得しました。

NICDとは、栄養状態を整え、運動に耐えうる体作りをした上で、温浴刺激療法・用手微振動・

バランスボールを用いたストレッチや運動を行い、身体機能の回復を望むものです。

これらを実践することで関節拘縮の改善にも効果が得られます。

出来るだけ多くの方の機能回復ができるように、今後は当院の看護師全員がNICDを実践できるように教育していきたいと思っております。また、家族指導も含め、他病院・施設との連携を深め、このNICDを地域に広めていきたいと考えています。



10月14日 地域の方と薬師川の清掃活動を行いました

10月14日(日)に行われた薬師川清掃活動に、当院から職員数名が地域活動の一環として参加しました。地域住民の方と川の中でのゴミ出しや雑草の片付け等の清掃活動を行いました。数時間の清掃活動で軽トラック数台分のゴミ・雑草が集まりました。薬師川の中にはザリガニや魚も多く発見する事があり、地域の多くの方の善意と努力によって川の環境が保たれているということを実感しました。



10月31日 第12回健康教室を開催しました

11月22日 第13回健康教室を開催しました

第12回を当院消化器内科医長の柴田照久を講師に、第13回を当院脳神経外科部長の金子陽一を講師に開催しました。

それぞれの専門分野である「内視鏡」と「脳卒中」をテーマに講話をし、参加された方からは「大変物知りになり、健康に気をつけるようになりました」「診察のときにはなかなか詳しく聞けないので、素人にも分かりやすく話していただけて勉強になります」などの嬉しいお声をいただきました。

平成25年も定期的で開催いたしますので、みなさまのご参加を職員一同お待ちしております。



11月17日 如水会医学会を開催しました

11月17日(土)に、サンメッセ鳥栖にて「病院のチカラ」をテーマに「如水会 医学会」を開催しました。今回で第14回となり、初めて地域のみなさまを迎え、ご出席頂きました。学会では、病院職員から地域のみなさまへ当院が出来ることを発表し、また、地域のみなさまからは当院への貴重なメッセージを頂きました。

【今、発揮できる今村病院のチカラ】、そして、【これからの今村病院のチカラ】を信じて、私達の最大の使命である「地域医療への貢献」を果たしていきたいと思っております。



11月29日 消防訓練をおこないました

11月29日(木)14時より当院にて消防訓練をおこないました。出火元は厨房で夜間に火事があった場合を想定。実際に非常ベルをならし、消防署にも通報をしました。職員がそれぞれの役割を果たし、無事に避難誘導することができました。

年に2回消防訓練を実施し、万が一の事故が起きた際に対応できるよう備えていきたいと思っております。



医療法人 はらだ会 はらだ内科・胃腸科

理事長・院長
はらだ りょうさく
原田 良策 先生



住所：〒841-0031 鳥栖市鎗田町281-3

電話：0942-84-1515

ファックス：0942-82-1187

診療科目：内科・胃腸科・呼吸器科

循環器科・リハビリテーション科

●診療している分野

消化器・循環器・呼吸器そしてリハビリを中心とした診療をしております。

胃・大腸の内視鏡検査・治療、肝・胆・脾の腹部超音波の検査やインターフェロン治療など、専門的に診療しております。

●診療のモットー

悩める患者さんの病状・病気に対する適切な診断・治療を心がけております。

●施設特徴

入院ベッドは19床の一般病床です。

他、患者さんの事情により入院不可能な方、外来通院が困難な方の往診診療も行っています。



●趣味

趣味程度のゴルフです。双子の息子も現在大学生(医学部学生)で家を離れていますので、自分の診療所で遅くまで仕事をするのが趣味のようになっています。

●診療時間/休診日

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○
14:00 ~ 17:30	○	○	○	○	○	—
休診日	日曜日・祝日					

